



今日のトピック 世界の「投信マネー」(2019年7月)

MMFと債券に集中する「投信マネー」

投信マネーの流入超過額は2カ月連続の1,000億ドル超え

- 7月の投信マネーは全体で+1,519億ドル(前月+1,022億ドル)と2カ月連続で1,000億ドルを超える流入超でした。「MMF」は7月最終週に流出超となりましたが、月間では+1,091億ドル(前月+371億ドル)と大幅な流入超でした。「債券」も+553億ドル(同+577億ドル)と高水準の流入超です。一方、「株式」は▲140億ドル(同+64億ドル)と流出超に転じました。他には「バランス」が▲32億ドル(同▲47億ドル)、「オルタナ」が+47億ドル(同+56億ドル)でした。

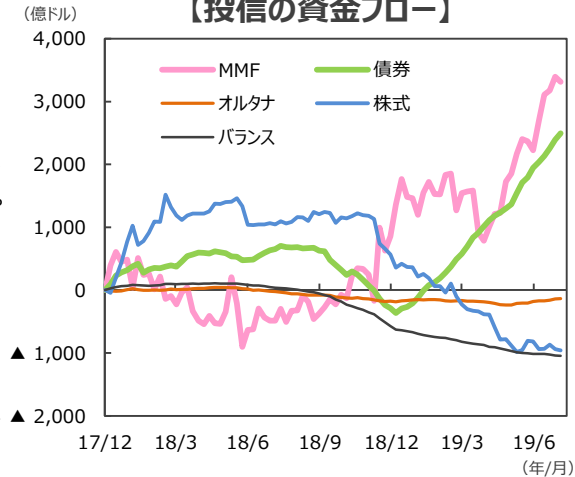
「先進国」株式ファンドは再び流出超へ

- 株式ファンドは「先進国」が▲72億ドル(同+113億ドル)と再び流出超となりました。「北米」が▲41億ドル(同+195億ドル)、「アジア」が▲15億ドル(同+41億ドル)でした。「新興国」は▲68億ドル(同▲48億ドル)と3カ月連続の流出超でした。

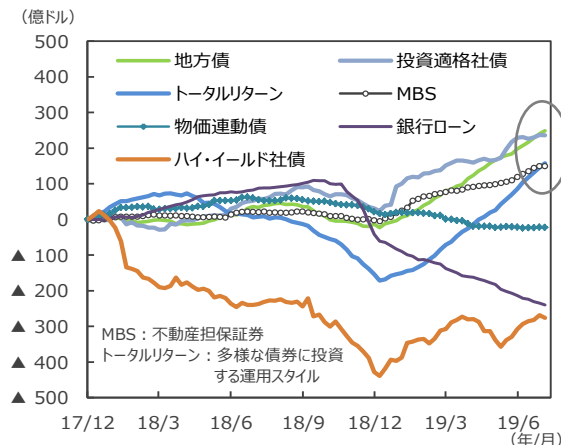
債券ファンドは引き続き「北米」が中心。金融緩和への期待から流入超が継続する見通し

- 債券ファンドは、「先進国」が+465億ドル(同+544億ドル)と7カ月連続の流入超です。「新興国」も+88億ドル(同+34億ドル)と2カ月連続の流入超となりました。引き続き「米国」の債券ファンドに安定して資金が流入しています。「ハイ・イールド社債」は7月最終週に流出超となりましたが、月間では+81億ドル(同+31億ドル)の流入超でした。「地方債」が+74億ドル(同+31億ドル)、「投資適格社債」が+63億ドル(同+62億ドル)、「トータルリターン」が+114億ドル(同+60億ドル)、「MBS」が同+47億ドル(同+21億ドル)、「銀行ローン」が▲43億ドル(同▲32億ドル)でした。
- 8月1日にトランプ大統領は9月1日から中国からの輸入品目約3,000億ドルに対して10%の追加関税を実施すると表明しました。景気の下振れリスクが高まり、米連邦準備制度理事会(FRB)の利下げも1~2回増える可能性があります。金融緩和への期待から「北米」債券ファンドへの資金流入が継続する見通しです。

【投信の資金フロー】



【米国債券ファンドのスタイル別資金フロー】



(注1) EPFRグローバル：米国に本社を置く金融商品の調査会社。2019年6月末現在35.4兆ドル規模の世界のファンドの資金フローデータを持つ。データは2017年12月～2019年7月。週次ベース。2017年12月からの累計。  
 (注2) 「アジア」は日本、豪州、ニュージーランド、香港、シンガポール。「EMアジア(新興アジア)」は中国、インド、韓国、台湾、インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム、パキスタン、バングラデシュ。「GEM」はGlobal Emerging Markets(世界の新興国市場全体に投資するファンドの総称)。  
 (出所) EPFRグローバルのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

ここも  
チェック!

2019年8月2日 トランプ大統領の対中追加関税表明を受けた米国金融市場  
2019年8月1日 米国の金融政策：2008年12月以来の利下げ(2019年7月)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。